事業番号 新26-03

平成25年行政事業レビューシート								(国土交通省)						
	事業名	木造住宅技能者評価・育成事業				担当部	邓局庁		住宅局	^{作成責任者}				
	業開始・ (予定)年度	H26~						担当課室		住宅生産課木造住宅振興室		室	室長	林田 康孝
	計区分	一般会計					1 少子・高齢化等に対応した住生活の安定の確保及び向上の促進 2 住宅の取得・賃貸・管理・修繕が円滑に行われる住宅市場を整備する							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		-						関係する計画、 通知等 住宅市場整備推進等事業費補助金交付要系					7,727	
(目		木造住宅供給の主な担い手である大工技能者の減少及び高齢化に対応した人材育成と技術力向上に資する取組みや、消費者に対し中小工務店等に関して比較・評価できる情報を提供するなどの情報基盤整備に対して支援を行うことで、地域における安定的かつ信頼性の高い木造住宅の供給体制を維持・増進することを目的とする。												
(5行		能者になる	る者を育	f成するために	実施す	「る木造住宅施工	技術0	D実技指導、	③大工技	組として、①中小工 支能者のリフォーム を踏まえて選定さ	、工事や長期優良	住宅施工	等の技	術力向上に資す
身	尾施方法	□直接実	施	□委託・	請負	■補助		□負担	□3	Σ付 □貸付	寸 □そ 0	D他		
		当初予算		切予算	22年度		23年度		24年度	25年	度	26年度要求 1,150		
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		予算 補正予算 の状 ほうかん												
		況	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・											
		計										1,150		
		執行額												
		執行率(%)												
成里	日梗及水成	成果指植			指標			プロウ 体	単位	22年度	23年度	24年	度	目標値(32年度)
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)		リフォーム実施戸数の住宅ストック戸数に対する割合					成果実績達成度	%	3.5(H16~20平均) 58				6	
	• • • • • •	新築住宅における認定長期優良住宅の割合						成果実績	%	12.7	12.5	12.0		20
		活動指標						達成度	<u>%</u> 単位	22年度	63 23年度	60 24年		25年度活動見込
	指標及び活							江野中体						
	動実績 ウトプット)	民間事業者等より公募する採択事業件数				活動実績(当初見込						_		
							(当初元と み)			(() ()	
単位当たり コスト								算出根拠						
_		費 目 25年度当初		予算 26年度要求				主	な増減理由					
平成。		市場整備推進費												
2 5	に必要な経費													
2	補助金	主宅市場整備推進等事業費 金		_		1,150								
6 年														
年度予														
算内														
訳		=1			1 150									

事業所管部局による点検										
		項目		評価	評価に関する説明					
国必費	広く国民のニーズがある	か。国費を投入しなければ	事業目的が達成できないのか。	0	「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」や、政府が定める住生活基本計画、「中古住宅・リフォームプラン」において、木造住宅供給の担い手の人					
要投		ねることができない事業な		0	材育成の必要性が明記されていることから、大工技能者 に対する補助事業は国が率先して優先的に行うべき事					
O	明確な政策目的(成果目 なっているか。	標)の達成手段として位置の	0	業である。						
	競争性が確保されている	など支出先の選定は妥当な	0							
事	受益者との負担関係は翌	妥当であるか。		0						
業の数	単位当たりコストの水準に	は妥当か。		0	提案の公募を行い、学識経験者で構成される評価委員					
効率性		での支出は合理的なものとなって	_	会での審査を経て、補助事業を選定した。						
1 1 1		:即し真に必要なものに限定	0							
=		·の理由は妥当か。(理由を)手段・方法等が考えられる	_							
業の	あるいは低コストで実施で	できているか。	場合、てれる比較してより効果的	0	本事業の同一の目的を達成するための類似の事業・手 段は存在していない。					
有	活動実績は見込みに見る	合ったものであるか。		0	技術措置等において一定の受講者を得て、直接指導等 を行う予定で、実効性はあると考えられる。					
効性	整備された施設や成果物	物は十分に活用されているだ	j\ ₀	_						
重		他部局・他府省等と適切な 容を各事業の右に記載)	役割分担を行っているか。	0	厚生労働省の「キャリア形成促進助成金」は中小企業の事業主が従業員のキャリア形成を目的として実施する服金を持ちた。					
複	事業番号	類似事業名	所管府省·部局名		業訓練等を支援する制度である。 一方で、本事業は自社の従業員に限定することなく業界					
排除	590 キャリア形成	促進助成金	厚生労働省職業能力開発局育	成支援課	団体等が大工個人を対象に実施する技術講習に補助する制度である。					
			行政事業レビュー推進チーム	の所見						
	- 大工技能者の減少及び高齢化に対応するためには、人材育成等を行うことが必要であり、優先度の高い事業であることから、効果的な施策として効率的に執行できるよう努めるべき。 所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況									
			-							
		関	連する過去のレビューシートの	事業番	号					
\overline{Z}	平成22年	-	平成23年		平成24年 -					

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国土交通省 1, 150百万円

地域における安定的かつ信頼性の高い木造住宅の供給体制を維持・増進 する取組として、①中小工務店等に関する情報基盤の整備、②新規に大工 技能者になる者を育成するために実施する木造住宅施工技術の実技指導、 ③大工技能者のリフォーム工事や長期優良住宅施工等の技術力向上に資 する取組を実施する事業者について、事業計画の提案を公募し、学識経験 者の意見を踏まえて選定された事業に対して、事業の実施に要する費用を

【公募•補助】

A. 民間事業者等

①中小工務店等に関する情報基盤の整備、②新規に大工技能者になる者を 育成するために実施する木造住宅施工技術の実技指導、③大工技能者のリ フォーム工事や長期優良住宅施工等の技術力向上に資する取組を実施。

資金の流れ (資金の受け取 り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万 円)

		A.			E.	
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	а		(1731 17			(11731 17
	計		0	計	_	0
		В.	夕 超		F.	夕 超
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
費目・使途						
費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご						
とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)						
者について記載する。費目と使途						
の双方で実情が 分かるように記						
載)	計		0	計		0
		C.			G.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
			(17317)			(1731)
	=1			=1		
	計		0	計		0
		D.	全 頞		Н.	全 頞
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

 B.
 支出額 (百万円)
 入札者数 落札率

 1
 (百万円)
 入札者数 落札率

 2
 (百万円)
 人札者数 落札率

 3
 (百万円)
 人札者数 落札率

 5
 (百万円)
 人札者数 落札率

 6
 (百万円)
 人札者数 落札率

 7
 (百万円)
 人札者数 落札率

 8
 (日本)
 (日本)

 9
 (日本)
 (日本)

 10
 (日本)
 (日本)